



サンドラ・ライト・シェン (Sandra Wright Shen)

<http://sandrashen.com>

プロフィール

サンドラ・ライト・シェン (Sandra Wright Shen)

米国人と台湾人の両親のもと、4歳でピアノを始めた。13歳でドイツに留学し、その後、米国へ。

アメリカのピーボディ音楽院 (Peabody Conservatory) で演奏の修士号を取得しており、また、スタインウェイ・アーティスト (Steinway Artist) でもあります。これまで、ワシントン D.C.のケネディセンター、シカゴ文化センター、モンテカルロ歌劇場、グラナダ国際音楽祭、フランスのシャオン音楽祭、ドイツのフランクフルト文化センター、北京の中山音楽堂、台湾の国家音楽ホールと衛武宮音楽ホール、アメリカのマスターズ音楽キャンプ、ブレバード音楽祭などで演奏を行いました。サンドラはチャールストン交響楽団からの招待を受け、2017-2018年の駐団音楽家として活動しました。また、2012年のフランス国際ピアノコンクールで優勝、1997年のヒルトンヘッド国際ピアノコンクールで優勝、ミエチスラフ・ムンツ (Mieczyslaw Munz) ピアノコンクールで優勝しています。

コンサートシリーズ「Inspiration From Above」《インスピレーションの源》

(簡略 IFA)

多くのクラシック音楽の作曲家たちが深い信仰を持っており、その信仰が彼らの作品に大きな影響を与えられ、音楽の美しさと作曲家たちの信仰を結びつけることで、多くの人々に神の愛と真理を伝えられると信じて夫のレイモンドと「Inspiration From Above」(インスピレーションの源)(簡略 IFA)シリーズを企画しました。

偉大な音楽家と作曲家の背景を通じて、人生の苦難、愛、意味を探求するもので、サンドラは音楽家の物語を語り、時には曲の解説もあり、ピアノ演奏と特々な舞台スタイルです。現在では5つのシリーズがあり、13カ国で350回以上の公演を行い、コンサートを通じて世界中の聴衆に感動を与えられ、アメリカ、香港、台湾のテレビ局で番組として放送されています。

日本に福音を伝える宣教の思い

20数年前にイリノイ州で教職についていた時に、牧師から日本への宣教旅行に誘われて、日本がどれほど主を必要としているか語られました。

ある祈り会で主が「日本の国旗を見てみなさい。この意味はイエスの血の一滴が国家

全てを救い出すという意味だ。」と牧師に語られました。

それから私は日本に対しての気持ちが湧き上がるようになり、日本人に対しての愛が湧いてきました。

主の愛と真理によって彼らと触れ合えるように用いて欲しいと祈りました。

そして、音楽と主への生きた信仰を持つ作曲家の信仰生活により、クラシック音楽好きな日本人と触れ合うのが非の打ちどころのない完璧な計画だと、IFA 結成時に最終的に気づきました。

今年は初めて、日本人ピアニスト小堀英郎と共演でき、きっと多くの日本人はご来場いただけることを期待して、感謝します。